

校長室だより

No. 40

平成31年2月8日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かざ
加藤嘉一

やっぱりいいなあ この風景 -ペア交流1・6年の凧揚げを見て-



2月4日(月)この日は運よく?強い風が吹きました。運動場には、かわいらしい絵の描かれたたくさんの凧が揚がっていました。凧は、生活科で1年生が作ったものでした。そこには1年生と6年生がペアでいました。6年生の子が凧を持って「そっち向きに走った方がいいよ」と風下に立とうとしますが、1年生の子供たちは「早く揚げたい」と走り出したくて仕方がない様子です。6年生の子は「まだ待って」と、凧をもちながら風が吹いて凧が揚がりやすくなる瞬間を待っています。「よし」と言うと1年生の子は凧を揚げるためにびゅんびゅん走り、「風に乗って上へ揚がって」と願いながら6年生の子がその後を走っていました。

凧が風を受けている間隔を糸をもつ指先で感じながら、いいタイミングで糸を少しずつ伸ばし高さを上げることは、1年生の子にとって至難の業。ほとんどの子供の凧は、走っては落ち、走っては落ちの繰り返し。それでも「絶対揚げてやる」と子供たちは何度もトライするのです。1年生の子供が何度失敗しても、6年生の子供は一人もつまらなそうな顔をしません。最後まで1年生の子供の凧をもち、1年生が走り出すと一緒に走ってつきあっていました。この風景が何ともいい。



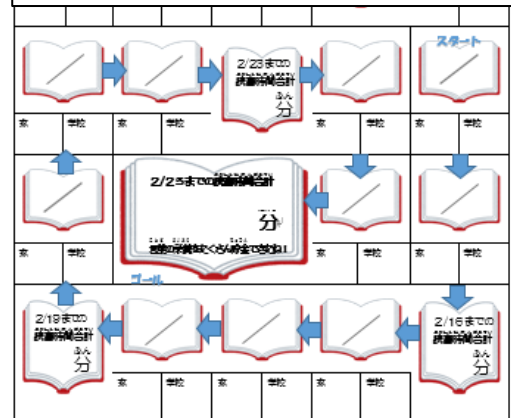
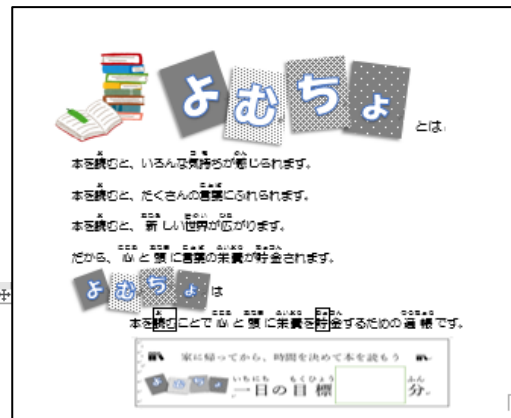
ペア交流が深まっています。2・5年生は、米作りでお世話になった二村さんを招いて感謝の会を開き、収穫したお米で作ったおにぎりとお給食をペアで食べました。もうすぐある縄跳び大会に向けても、放課や体育の時間を合同にし、ペア学級で大縄練習をする姿もよく見られるようになりました。大縄に入れない子を大きい学年の子が入れるように、リズムに合わせた言葉をつくるなど工夫しています。こうした機会をつくり出してくれている先生方に感謝です。地域で、子供同士の大人数で遊ぶ機会が減り、学校がその役割を担わざるを得ない状況は残念ですが、大切にしたい機会だと思っています。

「よむちょ」(読書時間記録カード)の点検、御協力をお願いします！

本校では、毎年いろいろな方法で本の楽しさを感じさせ、読書習慣をつけようと努めています。今年度の秋のもみじ読書週間では、図書委員会の子供たちが、図書集会を開いて読み聞かせをしたりしてくれ、期間中に読んだ冊数を記録するカードも作りしました。今年度は、先生たちのおすすめの本紹介もこのおたよりで紹介させていただきました。

今回は「よむちょ」カードを使った取り組みです。これは、昨年度もみじ読書週間で初めて取り組んだものです。期間中に家での読書時間を毎日記録し、最終的にどのくらいの時間読書したかを振り返るカードです。点検は、家庭と担任とです。今年度は、自分で目標時間を設定する枠を、図書主任の柴田先生が作ってくれ、グレードアップです。自律的にするにはとてもよいと思いました。ぜひ、家で読書する楽しさを感じさせてあげてほしいと思います。今年も御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

右横のデータは、昨年度の結果です。昨年度は11月の2週間を取組期間にしましたが、今年度はうめ読書週間の10日間です。昨年は5年生の平均読書時間が一番高かったです。6年生になりさらに増えるかどうか。大人でも1日10分を毎日続けられるかという苦しいものですね。わたしも自分で記録したいと思います。どれだけ読めるか。それぞれの学年がこの記録を少しでも伸ばしてくれるとうれしいです。



	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学年1日平均(分)	13.0	14.9	21.4	22.6	24.9	19.8
最長者1日平均(分)	34.3	47.5	145.7	63.6	85.6	39.1

